



第42号

新潟市秋葉区新津東町
1丁目12番9号
新津工業高等学校内
同窓会事務局
TEL0250(22)3441



同窓会長 岡村 茂

ごあいさつ

同窓会員の皆さん、お変わりなく穏やかに過ごしていらっしやいましょうか。

今年の夏も酷暑の連続でしたが暑さにはめげず、中国北京では世界のスポーツの祭典・オリンピックが開催されました。

日本人選手の奮闘と活躍に期待して、感動と大きな勇気をいただいた一か月間でありました。さて、毎年定期的開催しております同窓会総会も数えるところ今年で四十二回目、無事に終えることができました。ご出席くださった方々に御礼を申し上げ、残念ながらご参加できなかった方には、次回ぜひご参加いただきたいと思えます。

この総会、発会以来、毎年秋十一月と定め、開催してまいりました。時代の変遷と共に、総

会開催時期を年度の始まりの頃が望ましいとの声があがり、モデル的にここ数年前から六、七月に開いてみたところ、この結果を踏まえて、時期を定着することが望ましいものと考えられ、早急に評議員会で審議することが必要であります。

総会は、会の顔であり看板でもあります。より多くの同窓生が参加してくださることが、会の発展に大きくつながります。一時でも旧交を深められる場として、ご活用くだされば幸いです。

ところで、県教育委員会は、この九月に公表した二十一年度の入学生徒募集案が示されました。これによると、我が母校は「機械科」と「機械システム科」を統合し、科名を変えて二学級に、

また一学級増の新しいクラスが設置されることとなります。顧みれば、公立高校整備計画策定検討が進められて以来、我が母校の行く末を心配し注目し学校を支援するPTA・後援会組織と共に一致した思いの中、県教委に強く要望し、また大変多くの関係各位にもご尽力をいただいたたまものが一要因としてはたらく、結果として表れたものと推測されます。本当にうれし限りであります。反面、これから多くの難題が山積されることでしょうが、校長先生はじめ諸先生方が力を合わせて取り組んでくれるものと確信しております。

四年後、我が母校は創立五十年という節目の年をむかえることとなります。平成二十一年が私たちにとつても、我が母校にとつても新しく生まれ変わる大切な年になります。大いに期待しましょう。

それでは、同窓の絆を持ってさらなる躍進をお祈りします。

同窓会費追徴プロジェクト

プロジェクト代表 石黒 利幸

日ごろから同窓会活動にご理解とご協力いただき、有難うございます。

電子科、電気科の閉科に伴い近年、急速に同窓会への入会数が減少しております。同窓会としましても経費削減や広告収入等の努力を続けてまいりましたが財源の減少に歯止めが掛からないのが現状であります。

皆様もご存知のように我々の唯一の定期機関紙である同窓会報も全会員に配布できないばかりか、母校への協力金などの資金調達も苦慮しているしだいでもあります。

つきましては、同窓会費追加徴収プロジェクトを立ち上げ意見交換を行ってまいりました。

その結果、第1回生より徴収を始めることとなりご案内申し上げます。

記

金額 1口 1,000円

徴収期間 平成20年11月1日〜平成21年2月28日

同封の振込用紙等をご利用ください。

なにとぞご理解と、ご協力頂きますよう重ねて、お願い申し上げます。



学校の近況

学校長 村田 幹夫

同窓会の皆様には日頃から大変お世話になっております。

本校に赴任し半年が経ちました。校庭の立派に成長した卒業記念樹は、1万人以上の卒業生がここで学んだ歴史を感じさせます。現在は2学級と小規模ですが運動部が頑張っています。今夏、インターハイに出場した弓道部そして柔道部、剣道部、野球部が活躍しています。さらに、バドミントン部、バスケットボール部、サッカー部、テニス部、卓球部で多くの生徒が活動しています。生徒は素直で挨拶が良く、社会に出る覚悟がしっかりとできていますように感じます。

さて、急速な少子化と社会の変化から高等学校の統廃合が進められる中で、新津工業高校の存続を多くの同窓会の皆様がお心配して下さいました。おかげさまで、この9月に発表された来年度の募集学級計画案では、本校は1学級増えて3学級となり、機械科と機械システム科が統合されて新しい科(仮称、「生産工学科」)に、さらに「工業マイスター科」(仮称)が新設されるよう計画されています。

10月下旬に決定しますが、学校では少しづつ準備を進めています。「生産工学科」「工業マイスター科」とも機械科の内容を中心に電子制御・情報の勉強もでき、進学にも十分応えられるようにします。

ものづくりの楽しさや素晴らしさを感じさせ、ものづくりの基本を確実に学ぶことが出来る学校を目指します。特に、「工業マイスター科」では、将来の高度熟練技術者を目指す生徒が出てくることを期待しています。「生産工学科」は興味ある分野を深められよう、科目選択制を取り入れます。

専門教科の中でも実習の時間を多くします。特に「工業マイスター科」は県内のどの工業高校に比べても実習時間が大幅に多いのが特徴です。さらに、これまでもインターシップ、デュアルシステム等において地域で活躍する方々からのご指導を頂きましたが、来年度からは高度熟練技能者から学校で匠の技を披露していただく機会を設けます。また、新潟県の誇る鍛冶、研磨の技も学べるように、県央地区で校外実習をする計画です。溶接はJR東日本新津車両工場の素晴らしき溶接訓練施設を利用して頂くようお願いしています。技能士といった高度な資格検定の取得や、ものづくりコンテストでの活躍を目指します。

時代に応じた新しい工業高校として、全国の先駆けとなる学校を創る決意です。本校は4年後に創立50周年となります。同窓会諸氏の変わらぬご支援をお願いします。

生徒海外派遣研修に参加して

熊倉 稔

残暑が続いている中、第二回生徒海外派遣に参加させて頂きました。お盆明けの八月二十一日から八月二十三日迄の三日間。旅立つ新潟空港で村田校長、佐藤PTA会長の言葉を頂き、又見送って頂きました。生徒六名随員七名の旅でした。三日間の行程の中、安全無事を祈りながら一路韓国へ。私事ですが海外旅行は約十五年振り。やはり国内旅行と違い喜びあり、少しの心配もありの旅でした。韓国へは二時間の飛行時間、特別揺れることなく仁川国際空港に到着、大きく整備された空港である。女性のガイドの方々に案内して頂き、第一日目のスタートです。

自由の橋、板門店の手前までは許可なく自由に入入りができる最後の地点です。又統一展望台からは南北朝鮮の分断を一部見ることが出来ました。その周辺にありました民俗資料館には映写主義人民共和国の文化芸能が流れていました。小学生でしようか音楽演奏、踊り立派なものでした。これは他国にいや韓国への敵対心の表われでしょうか。イルミネーション夜景が素晴らしいソウルタワー夜八時頃だったでしょうか人が多く集まる所でした。

二日目、新潟県ソウル事務所坂井所長、伊藤次長よりホテルに来て頂き韓国での国内状況、経済動向に関しての情報を聞かせて頂きました。そうです、もう一言韓国には徴兵制度がある訳です。研修生

はどのように耳にしましたか。

企業訪問としまして「三友システム」金型製造、キャスター製造、卸販売、オリジナル椅子製造の話社長より細かく説明を我々はお聞きしました。

又もう一つの企業訪問先は「(株)MCTECH」精密機械が数多く電子回路基盤を製造、国内は勿論海外の仕事もウェイトが大きいと言うことでした。ある社長の話がありました。今、この仕事をやっているが、少し前の時代は全部日本で作っていた仕事である。旧来日本は細かい技術で日本の成長があった。しかしながら現在は人に他国にやらせている。日本の技術の低下を心配しておられた。

三日目、急激な経済成長の「ツケ」でしよう、生活排水・工業排水による水質汚染は心配されている。その中に復元整備をしながら家族連れやカップルが賑わうスポットがあり親しまれている場もありました。

「景福宮」建築に優れた宮殿、現在は国の史跡に指定、この中での憲兵の交代式は見るものがありました。

これで海外研修も残り夕方近く空港に到着出国手続きをしフライトへ無事約二時間をもって新潟空港へ研修生六名想い出に残る海外研修であったと確信をしたと思います。最後になりましたが、岡村会長はじめ同窓会の方々本場にお世話になりました。

海外研修

三年一組 佐藤大地

私は今回で韓国は二回目でした。一回目は小学生の時行ったのですが、高校生になってからの二回目の韓国は一回目よりも感じるものが違いました。そして、ただ感じるだけではなく、今回は韓国を理解することができました。全てではありませんが、韓国の食文化や韓国の歴史、そして韓国の工業の技術など、良く学ぶことができましたので、とても良かったと思っています。

今回韓国に行き、とてもいい刺激になりました。韓国に行き、受けたこの刺激を今後から自分の糧として、これからの様々な困難にも対応していきたいと思えます。

三年一組 和泉裕也

この度の韓国派遣研修は、僕にとって人生初の海外という不安があった研修でした。

韓国では、北朝鮮との停戦ライン付近の自由の橋や統一展望台、国立民俗博物館、景福宮などを訪れ、韓国の文化や歴史に触れました。また、三友システムという企業ではパーツを材料から作っていたり、株式会社MCTECHでは日本のケータイにも使われている基板や配線などを作っていました。このような企業視察を通じて韓国独自の技術や作業工程も見てきました。韓国も日本と同じぐらいの工業技術力が発達していることを知る良い機会になりました。

三年一組 光井 駿

8月中旬、海外研修生として初めて韓国へ行きました。韓国での出来事は、全てが新鮮でも魅力的でした。

先進企業を訪れた時は、実際に行っている作業を生で見ました。中でも印象的だったのが一生懸命働く日本人やアメリカ人などといった国外の方でした。私は、同じ国外の人が慣れない土地で一生懸命働く方々に感動しました。

韓国には、韓国しかない素晴らしいものが多いと感じました。こういうものを作るには、一人ひとりが努力をし皆助け合っていかなければならないんだなど実感しました。私も韓国の方々を見習って頑張っていきたいと思えます。

三年一組 土田哲也

自分は、初めて海外に行くことができ、人生の中でも貴重な体験をする事ができました。

行く前は、初めてだったので少し不安もありましたが、同窓会の方々が温かく迎えてくれたので楽しみながら研修する事ができ、とてもありがたく思いました。

いざ韓国へ着いてみると、高層マンションが多く、道路も片側四車線の所を見て、その時、初めて海外についていたという実感が湧きました。

今までは、海外なんか行かなくてもいいと思っていましたが、今回の研修でいろんな国に行ってみたいと思いました。

大変お世話になりました。

三年二組 中林孝之

僕が韓国で感じた事は、町並みが日本とほとんど変わらなかった事です。日本よりも戦争の影響があるというのに、町並みが変わらないという事は、すさまじい努力があったからだと思います。そのことにすごさを感じました。しかし、北朝鮮との国境近くでは、まだ嚴重な警備がされていました。実際、僕らの乗っているバスに戦車が横切りました。あんなに發展した国がまだまだ戦争と隣り合わせなことになりました。

次に感じたことは、料理がおいしかったことです。キムチは日本のものより辛かったけど、とても食べやすかったです。

三年一組 若林翔太

海外研修ということで、自分たちは韓国に行っていました。

自分は初めての外国だったので、驚いたことがたくさんありました。自分の韓国のイメージは「発展途上の国」ぐらいにしか思っていました。しかし、実際にソウル市内を見るとイメージが180度変わりました。高層ビルやマンションが立ち並び日本のようでした。また、大型デパートや、有名ブランドなどがたくさんありました。

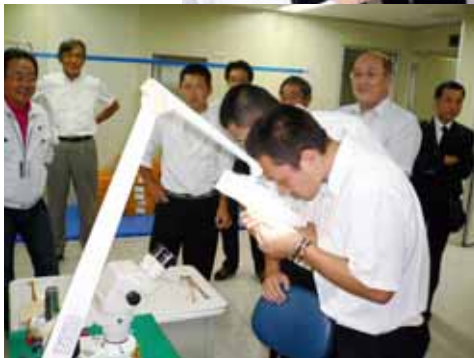
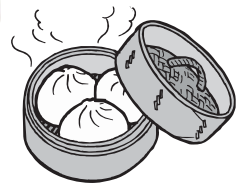
企業見学でも、日本に負けないくらい大きな規模の企業もありました。韓国は日本と肩を並べるくらいに發展してきました。日本も負けなように、頑張っていきたいです。



復元された清溪川で記念撮影



景福宮を見学



安山市「株式会社MCTECH」企業視察

新潟県ソウル事務所からの説明会



仁川市「三友システム」企業視察



「自由の橋」さまざまな願いが書いてある前で



砂利碎石採取製造販売

有限会社 富士建材

阿賀野市六野瀬 2 4 3 6 - 1

☎ 0 2 5 0 - 6 8 - 2 8 9 0

越後天然ガス(株)認定工事店
新潟・五泉市上下水道指定工事店

 有限会社 丸和工業

本社 新潟県五泉市大字船越 1 3 6 番地 1
TEL (0250) 4 2 - 4 6 0 6 (代表)

FAX (0250) 4 2 - 5 5 7 2
営業所 新潟県新潟市秋葉区新津(山谷北)5154番

TEL (0250) 2 2 - 8 4 2 8
FAX (0250) 2 2 - 7 7 0 9

貝沼政志 (13回機械科卒) 長谷川勝二 (18回機械科卒)

会 員 雑 感

思い出すままに

二度目の卒業

平野 伸一

鳥井 克己

早いもので来年は二巡目の国体が新潟で開催されます。その一巡目の昭和三十九年に初めて新潟県人となりました。又その

年は新潟地震もあった年でもあり、忘れられない年です。

まだ創立二年目。実習に使う装置もほとんどなく、毎日毎日それらの製作にあたっていました。六月十六日も3棟の準備室で昼食を食べながら、午後の作業の準備をしていた時、非常に大きな揺れを伴い地震が来ました。必死でガラス戸棚や工具類を押さえていました。ふと窓の外を見ると遠く新潟の一面で黒煙がもくもくと上がるのが見えました。鉄道も止まり、かろうじてバスが動いていたので行けるところまで行こうと超満員のバスに揺られて何とか新発田まで帰ることが出来ました。テレビを見ると新潟市内の大惨事が

映されており、大きなショックを受けました。

後年 N T T から教材用にとマイクロウェーブの送受信機やパラポラアンテナをいただきました。その時のお話で、地震当日万代橋脇の N T T の建物も被害を受け、マイクロ回線が使えなく、NHKのテレビ用の映像を東京まで送れなくなったが、J R の新潟駅の回線は使えるというので N T T の屋上と駅間の電波の送信にこの装置を使い全国に新潟の惨事を伝え続けたと説明を受け、いわれのある装置をいただいたのだと思えました。今もその装置が校内のいずれかの部屋にあると思います。



新津工業高等学校で私は二度卒業している。

一回目は自分自身の卒業である。予行練習はやったが、当日は大学入試のため欠席した。先生に相談したら「おまえは来なくていい、親父さんだけは出席してくれ」とのことであった。卒業証書は謝辞を述べるため列席した父がもらった。

二回目は第四十回卒業証書授与式を生徒たちと一緒に迎えた。緊張した。卒業生徒の名前を間違えないように何度も練習した。生徒の顔が輝いてまぶしかった。名簿がかすんで見えた。私も証書をもらいたかった。卒業生を送り出した教室の寂しさは何とも言えないものがあつた。それぞれの進路先へ巣立っていった。母校で生徒を送り出したことが本当に嬉しかった。

学舎を 巣立つ時に 知るは恩

それは卒業生にはなく自身に言い聞かせた。生徒・保護者・同窓会・教職員に心より深く感謝しております。母校にはありがたいものである。今日もまた夜遅くまで野球部と格技場の電灯がついている。がんばれ新津工業！そしてがんばれ同窓会！がんばれ同窓生！あこがれの銀ボタンにエールを贈ります。毎日の通勤途中に見える母校、同窓生にとって、心のふるさとであり続けて欲しいものである。



株式会社 システム技研

代表取締役 石黒利幸 (第14回電子科卒)

〒950-0863
新潟市東区卸新町2丁目2066番地7
TEL (025) 256-6711 (代) FAX (025) 378-1550
E-mail: ishiguro@nisisygi.co.jp

有限会社 長谷川設計

代表取締役 長谷川 貢 (第5回機械科卒)

〒959-2113
新潟県阿賀野市緑岡231-57
TEL (0250) 67-4192 FAX (0250) 67-2976
E-mail: chosan33@blue.ocn.co.jp

同窓会役員

- 会 長 岡 村 茂 (1 M回生)
- 副 会 長(企画担当) 吉 野 真佐信 (2 M回生)
- 副 会 長(組織担当) 長谷川 貢 (4 M回生)
- 副 会 長(総務担当) 高 塚 則 明 (8 e回生)
- 副 会 長(財務担当) 石 黒 利 幸 (14 e回生)
- 書 記 長 斎 藤 靖 (20 e回生)
- 書 記 次 長 昆 昌 喜 (11 e回生)
- 会 計 計 島 倉 弘 (6 E回生)
- 会 計 監 査 渡 辺 輝 文 (3 M回生)
- 会 計 監 査 藤 原 繁 (5 e回生)
- 幹 事 玉 木 健 二 (事務局)
- 幹 事 渡 辺 光 (事務局)
- 顧 問 小 柳 新 一 (1 E回生)
- 顧 問 間 勇 雄 (1 M回生)
- 顧 問 斎 藤 久 (2 E回生)

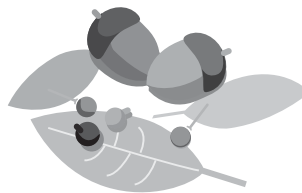
※評議員26名も役員ですがスペースの関係で本号に掲載できませんでした。

※役員任期は平成18年12月 1 日から平成23年11月30日までの 5 年間
※正会員数11,090名 (H20. 3末現在)

平成19年度末 平成20年度始 教職員の異動状況

- 〔転出〕**
- 小野塚純夫 (学校長)
 - 新発田南高校へ
 - 原田 恵 (英語)
 - 阿賀黎明高校へ
 - 小原 博子 (英語)
 - 新潟翠江高校 通信へ
 - 名塚 武史 (機械)
 - 長期研修 (一年)
 - 小池 茂樹 (機械)
 - 長岡工業高校へ
 - 波多 伸江
 - (事務・庶務係長)
 - 新潟健康部地域福祉課へ
 - 桑野 祐子 (事務・主査)
 - 新潟翠江高校へ

- 〔転入〕**
- 村田 幹夫 (学校長)
 - 長谷川昌美 (英語)
 - 皆川 輝保 (機械)
 - 小林 恭太 (機械)
 - 神田 哲子
 - (事務・庶務係長)
 - 佐藤 操 (事務・主査)



個人でも企業でもサークルでも ——

同窓会報の広告掲載の募集

一枠3,000円です。この機会に是非PRを!

*詳しいお問い合わせは

《同窓会事務局》まで

新潟県立新津工業高等学校同窓会の ホームページをアクセス

してみてください。——

学校の情報とあわせて同窓会からの情報を
発信していますので、ぜひご利用ください。

【ホームページURL】

<http://www.nin.ne.jp/~hisyou>

編集後記

小春日和の穏やかな毎日ですが、このところめっきり日が短くなつてまいりました。卒業生の皆様にはお元気で活躍の事と思ひます。

会報発行にあたり、突然の原稿依頼にご多用中にもかかわらず快くお応いただきました感謝申し上げます。

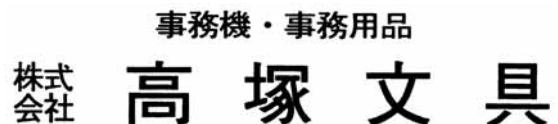
母校では、来年度から新たな新津工業高等学校として特色のある学校創りが始まっています。同窓会でも会報、ホームページ等で皆様にお伝えしていきます。

最後に皆様の益々のご活躍と、ご健勝をお祈り申し上げます。ご協力ありがとうございます。

(編集委員 高塚)



本社・工場 / 新潟市秋葉区古田877-1
TEL (0250) 24-6633 (代表)



高塚 則明 (第8回電子科卒)
新潟市秋葉区新津本町4丁目6番23号
TEL (0250) 22-1610代表